



## 東村山市子ども読書活動推進計画

第3次（平成27年度～32年度）

### 進捗状況報告2 『きょういく東村山』より 障害のある子どもたちへの取組



#### 講座「発達障害と絵本」を開催

市では、図書館を中心に市民や関連機関と連携しながら障害のある子どもに対して、いくつかの取組を進めています。

子どもの読書に関わるボランティア活動をより充実させるために、『ボランティアのための「子どもと本を知る」講座』・「発達障害と絵本」の中で、発達障害の子どもの特性やどんな絵本が喜ばれるかを学ぶ機会を設けました。

子どもが集中しやすい環境で読み聞かせをすることや、その子の気持ちに沿った声かけをすることなど、障害の有無にかかわらず、子どもへの読書活動を行う上での大切な視点がわかりました。

#### 「布の絵本」を活用して

また、図書館では市民グループから寄贈された、たくさんの「布の絵本」を所蔵しています。「布の絵本」は、布でできた絵本や遊具で、本来は障害児のために作られたものです。障害児施設への貸出や、「障がいのあるお子さんのための布の絵本プレイルーム」の開催を通して、子どもたちに楽しんでもらえたらと思っています。

さらに、特別支援学級に対しても、本の貸出や出張おはなし会など要望に応じたバックアップをしています。このような取組を進めながら、どの子ども読書に親しむことができるように支援の仕組みを整え、広げていく予定です。



布の絵本「あかずきん」

『きょういく東村山』第73号より

平成27年12月15日号